

超低ひずみ発振モジュール [LDH-100] 仕様書

1. 概要と特徴

本機は、超低ひずみ発振モジュール [LDO-1] の改造モデルで、同機に比べて次のような特長を有します。

- ◆ 広帯域仕様で、上限周波数は100 kHzとなっております。
- ◆ 高速切替仕様で、周波数設定後1秒以内に振幅が安定します。
(最終値の±0.1 dB以内)

2. 仕様

- ◆ 周波数設定範囲 10 Hz - 100 kHz
- ◆ 周波数設定誤差 ±1 % 以下 (使用CRによる)
- ◆ 出力電圧 4 V rms 以上 (出力端子開放時)
- ◆ 出力抵抗/負荷抵抗 50 Ω 以下 / 600 Ω 以上
- ◆ 周波数変更時間 1秒以下 (最終振幅の±0.1 dB以下になる時間)
- ◆ ひずみ率 下表以下

周波数 (Hz)	20	100	1k	10k	20k
2次高調波 %	-124 dB	-128 dB	-128 dB	-124 dB	-122 dB
3次高調波 %	-128 dB	-128 dB	-128 dB	-128 dB	-124 dB
THD %	-119 dB	-121 dB	-121 dB	-116 dB	-113 dB

THDは基本波～10次高調波間のノイズと高調波の合計値です。

- ◆ 電源 ±15 V / 55 mA

- 「注」① ひずみ率は別紙図のテスト回路による「ひずみ調整」完了後の値です。
② 記載の無い項目は [LDO-1] に同じです。